

2015年12月22日

各位

会社名 株式会社WOWOW
代表者名 代表取締役社長 田中 晃
(コード番号 4839 東証第一部)

WOWOWオリジナルドキュメンタリー 「国際共同制作プロジェクト もしも建物が話せたら」 2016年2月劇場公開決定



©Wim Wenders

株式会社WOWOW（本社：東京都港区、代表取締役社長 田中 晃、以下「WOWOW」）が今年5月に放送した「国際共同制作プロジェクト もしも建物が話せたら」の劇場公開が決定しました。2016年2月20日（土）より渋谷・アップリンクほか全国およそ20館で順次公開予定です。

「もしも建物が話せたら」は、日本、アメリカ、ドイツ、デンマーク、ノルウェー、オーストリアの6カ国が制作プロジェクトに参画し、制作プロジェクトのエグゼクティブ・プロデューサーを務めるヴィム・ヴェンダースをはじめ、ロバート・レッドフォードなど世界的に評価の高い6人の監督が、現代における象徴的な建築物とその社会的背景や人々とのつながりを独自の解釈で描き出したドキュメンタリー作品です。WOWOWでの放送に先駆け、第64回ベルリン国際映画祭や第27回東京国際映画祭にて特別上映されました。

「国際共同制作プロジェクト」は、日本という枠にとらわれないグローバルな視点と考え方で、世界各国のメディアやクリエイターと共同で番組を企画制作するプロジェクトです。本プロジェクトの作品が劇場公開されるのは初となります。

WOWOWは、コーポレートメッセージ「見るほどに、新しい出会い。」のコンセプトのもと、今後もオリジナルコンテンツの充実を図り、上質なエンターテインメントをお届けしていきます。

【お問い合わせ先】（マスコミ関係）広報部 TEL03(4330)8080
（IR関係）IR経理部 TEL03(4330)8089

■「もしも建物が話したら」

ヴィム・ヴェンダース製作総指揮！

ヴェンダース、レッドフォードを含む6人の監督が、
思い入れのある建築物の心の声を描き出す、
オムニバス・ドキュメンタリー。

<作品内容>

もし建物が話したら、私たちにどのような言葉を語り掛けるのだろうか。

建物は文化を反映しており、社会を映し出す鏡でもある。

一昔前、欧米ではその街を代表する建物は教会であり、
教会を見ることによってその街の文化も人々の暮らしも垣間見えた。

現代におけるその街を象徴する建物とは？

世界の名監督6人がそれぞれの街で人々との思い出を共有する、
思い出の詰まった文化的建物のストーリーを描き出す。

- <監督> ヴィム・ヴェンダース、ミハエル・グラウガー、マイケル・マドセン、
ロバート・レッドフォード、マルグレート・オリン、カリム・アイノズ
- <製作国> 日本、アメリカ、ドイツ、デンマーク、ノルウェー、オーストリア
- <製作年> 2014年
- <製作> WOWOW (日本)、ARTE (フランス)、rbb (ドイツ)
- <配給> アップリンク



©Wim Wenders

監督：ヴィム・ヴェンダース
ベルリン・フィルハーモニー



©Wolfgang Thaler

監督：ミハエル・グラウガー
ロシア国立図書館



©Heikki Färm

監督：マイケル・マドセン
ハルデン刑務所



©Alex Falk

監督：ロバート・レッドフォード
ソーク研究所



©Øystein Mamen

監督：マルグレート・オリン
オスロ・オペラハウス



©Ali Olcay Gozkaya

監督：カリム・アイノズ
ボンビドゥー・センター

以 上